

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
感情・人格心理学		必修	2	2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
前川 真奈美	B304	manami.maekawa	火曜日 10:40~13:00		
授業の目的・概要	<p><目的> 「その人らしさ」を形づくるものとして「人格 (パーソナリティ)」や「感情」がある。パーソナリティ心理学および感情心理学の基礎知識を学び、パーソナリティや感情が認知・行動に及ぼす影響を理解することで、自己理解や他者理解を深めることを目的とする。</p> <p><概要> パーソナリティ心理学の領域からは人格の概念ととらえ方、人格の測定方法、人格の形成プロセスを概説する。感情心理学の領域からは感情に関する理論、感情が生じる仕組み、感情が認知・行動に及ぼす影響を概説する。本講義では、Microsoft Teams を用いた同時双方向型の遠隔授業を行う。</p>				
授業形式・方法	<input type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	オフィスアワーの他、講義中やリアクションペーパーを活用し、積極的に質問して理解を深めてほしい。				
教科書	教科書は指定しない。必要に応じて資料を配付する。				
参考書	パーソナリティと感情の心理学 (ライブラリ心理学を学ぶ 6) /著:島義弘/サイエンス社/2017年				
外部教材	なし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	パーソナリティ心理学の基本的な概念・理論を理解し、体系的に説明できる。			HSU (1) (2)、WP (5)	
②	感情心理学の基本的な概念・理論を理解し、体系的に説明できる。			HSU (1) (2)、WP (5)	
③	パーソナリティや感情が認知・行動に及ぼす影響を理解し、体系的に説明できる。			HSU (1) (2)、WP (5)	
④	①~③をもとに「自分らしさ」「その人らしさ」を尊重しながら対人関係を構築できる。			HSU (1)、WP (1) (3) (4)	
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション パーソナリティ心理学 1: パーソナリティとは何かを学ぶ。	同時双方向型授業	講義中に示した課題に基づいて復習を行う。		
2	パーソナリティ心理学 2-1: パーソナリティのとらえ方として、類型論について学ぶ。	同時双方向型授業			
3	パーソナリティ心理学 2-2: パーソナリティのとらえ方として、特性論について学ぶ。	同時双方向型授業			
4	パーソナリティ心理学 3: パーソナリティの測定方法として、様々なパーソナリティ検査について学ぶ。	同時双方向型授業			
5	パーソナリティ心理学 4: パーソナリティの形成・変容に影響する要因 (遺伝と環境) について学ぶ。	同時双方向型授業			
6	パーソナリティ心理学 5: パーソナリティと対人関係について学ぶ。	同時双方向型授業			
7	パーソナリティ心理学 6: パーソナリティの病理について学ぶ。	同時双方向型授業			
8	パーソナリティ心理学に関する学習の総括を行う。	同時双方向型授業			
9	感情心理学 1: 感情とは何かを学ぶ。	同時双方向型授業			
10	感情心理学 2: 感情に関する諸理論について学ぶ。	同時双方向型授業			
11	感情心理学 3: 感情が生起する仕組みについて学ぶ。	同時双方向型授業			
12	感情心理学 4-1: 感情と認知・行動との関係について学ぶ。	同時双方向型授業			
13	感情心理学 4-2: 感情と認知・行動との関係について学ぶ。	同時双方向型授業			
14	感情心理学 5: 感情の発達について学ぶ。	同時双方向型授業			
15	感情心理学に関する学習の総括を行う。	同時双方向型授業			
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照。				

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		70	0	0	0	30	100
総合力指標	知識・技術力	40	0	0	0	5	45
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	10	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	10	0	0	0	5	15
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	5	5
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	5	5
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	講義内容の理解度について、学期末に定期試験を実施し評価する。定期試験では、専門用語について問う選択問題と、講義で扱った知識をもとに自らの考えをまとめる論述問題を出題する。			Microsoft Teams を利用して、総評や個別のフィードバックを行う。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	毎講義後に Teams 上でリアクションペーパーの提出を求める。講義内容に関する気づき、発見、疑問などが具体的に記述されているかを評価する。(全 15 回、各 2 点満点で計 30 点満点)			次回の講義でコメントへのフィードバックを行う。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験	公認心理師資格を有し、大学の学生相談室でのインターク面接(2年)や、病院・クリニックでの心理検査の施行(2年)の経験がある。						
実践的授業の内容	専門性とこれまでの経験をもとに、受講生がイメージしやすい具体例や実践的な情報を交えながら授業を進める。						
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 公認心理師の資格取得希望者は必ず履修すること。 ◇ 講義中に、自分の考えを発表する場や学生間の意見交換の場を設ける。他者の考えを知ることのでられる気づきや発見もあるため、積極的な態度で受講することを望む。 ◇ Microsoft Teams を用いた同時双方向型の遠隔授業を行う。授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推奨する。 ◇ 今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によってシラバスの変更が行われることがある。 						